

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援/放課後等デイサービス Olinace八千代第2			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 4日		～	2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数)	24名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 6日		～	2026年 1月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 22日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・脳科学理論をもとにした運動療育	《「動」と「静」のセットでメリハリを意識》 ・「動」と「静」の組み合わせで脳と体が成長し集中力を身に付けます。脳と体は相互関係にあります。体を動かすと脳（前頭前野）が活性化し、集中するために必要な脳の領域が元気になる。「動」と「静」の活動を交互に繰り返すことにより、興奮を瞬時に抑制する力が高まります。動と静のメリハリで、より強い抑制力を育てるため、結果的に集中する力が身に付きやすくなります。 《数分ごとにあそびを変えて脳を刺激する》 ・脳の様々な力を切り替えながら行うことで、楽しく能力を育てることができます。また、子どもも飽きずに続けられるため、集中力も鍛えられます。 《ストーリーやイメージと運動がセットになっている》 ・ハイハイをするだけでも「犬さんみたいに歩こう」など、イメージさせて体を動かすことで想像力を鍛えます。	・定期的な運動研修の実施やアレンジした運動プログラムの共有
2	・保護者面談 面談終了後には、職員全員に共有し、支援方法を検討しています。	・送迎時や連絡帳などお子さまの困りごとやご相談を頂きましたら、すぐに時間調整をして面談をさせていただきます。 ・送迎時にお子さまの1日の様子を保護者さまにお伝えしています。送迎終了後には、保護者さまから伺ったお子さまの様子登を必ず職員間で共有しています。 ・休みの職員やパートさんには、連絡ノートでその日のできごとを共有しています。	・毎朝、職員会議を開いて支援方法を検討する時間をもうけています。
3	・公園遊びや調理実習のイベント	・公園遊びでは、職員間で話し合い計画を立てて実施しています。 ・自作の玩具で遊ぶ体験をしています。 ・調理実習のイベントでは、子どもたち1人1人に“自分の力でできる作業”を担当してもらい、みんなで協力して作ったものを頂きます。放デイのお子さまはもちろん、児童発達のお子さまも楽しく参加できるよう工夫しています。	・ワクワクするイベントを子どもたちと楽しむためには、どうすればよいかを職員間で話し合っています。 ・子どもたちの意見を取り入れ計画を立てています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会等の開催。	・個々に保護者面談は行ってきましたが、集団での保護者会などへの参加希望を募る等、具体的な行動に移すことができていませんでした。	・アンケートを実施。結果を踏まえて、平日の午前中に保護者さま向けの茶話会や教室体験会（普段子どもたちが教室で行っている運動療育やおやつを選ぶ「お買い物ごっこ」などを保護者さまに体験していただきます）を計画中です。
2	・家族や兄弟向けのイベントの開催。	・今年度は初めて体育館を借りての運動会を開催しました。。場所や広さを考えるとご家族様で参加していただくことが可能な環境であることが確認できました。 ・子どもたちの作品を壁面で展示していますが、ご家族の方々にも足を運んでいただける機会があれば良いと思いついて企画中です。	・祝日にご家族で参加できる体育館を借りての運動イベントを予定しています。 ・Olinace八千代第2作品展を開催し、ご家族様にも参加していただけるようお声がけをさせていただきます。 ・
3			